

平成29年度 地域日本語教育スタートアッププログラム
豊丘村日本語教室
『だんだんにほんご』
の実施状況について



①豊丘村の人口

●人口 6,763人

●内外国人114人(人口の1.69%)

▪中国 93人(82%)

▪フィリピン 10人(9%)

▪ブラジル 6人(5%)

インドネシア、タイ、イギリス、アメリカ、韓国各1人

平成29年12月現在

②日本語教室開設に向けた準備

■運営委員会の設置

事業採択後、教育長を座長とする9名からなる運営委員会を組織し、7回の会合を重ね、準備段階から教室開設、運営の評価を行い、事業の進捗を図った。

■教室開設の目的

本村は満蒙開拓の歴史を背負っており、中国籍外国人の比率が圧倒的に高いので、そこに焦点を当て、ニーズに即した学習プログラムを組み、地域に溶け込み、コミュニケーション不足によるトラブルや悩みの解消につなげ、住民として自立していくよう支援し、共生の地域づくりをめざすことを主眼とした。

■ボランティアサポーターの設置

良き隣人として学習者と直接接して教室運営に関わるサポーターを公募した結果、9名の村民が名乗りを上げた。

サポーター会議を4回開催し、アドバイザーやコーディネーターから指導をいただいて研修を深めた(写真)。

■ニーズの把握

教室開設前に、外国籍住民の学習ニーズを把握するため、DMによりアンケート調査を実施したほか、5人の外国籍住民を尋ね、個別ヒアリングを行った。



とよおかむらにほんごきょうしつ
豊丘村日本語教室



とよおかむらこうみんかん がいこくじん
豊丘村公民館は、外国人のための
にほんごきょうしつ さんかしゃどうし
日本語教室をはじめます。参加者同士が
にほんご
日本語でおしゃべりします。そして
だんだん にほんご じょうず
日本語が上手になります。

もうしこみ といあわせ
申し込み・問い合わせ

「だんだんにほんご」に^{さんか}参加します。

◇^{なまえ}名前 _____ ◇^{しゅっしん}出身 _____

◇^{TEL}TEL _____

※^{ちい}小さい^き子ども^{かた}さん^{そうだん}をつれて来たい方、相談してください。

とよおかむらこうみんかん たんどう はら
【豊丘村公民館 担当:原】

電話 0265-35-9066

FAX 0265-35-2938

Eメール kominkan@vill.nagano-toyooka.lg.jp

申込は ●電話 ●FAX
●Eメール ●この紙
の、どれかで!
11月10日まで



いつ?

11月16日(木)
よる
夜7:00 スタート!!
もくようびよる
木曜日夜
つき かい がつ
月2回ずつ3月まで
ぜんぶ かい
全部で10回



どこ?



「ゆめあるて」
やくば みなみ
役場の南にあります。



だれが?

にほんご
日本語をべんきょうし
たいひと、だれでもき
てください!
にほんじん
日本人サポーターも
ほしゅう
募集しています!



いくら?

¥0 ^{むりょう}無料です。
^{いべんと}※イベントなどは
^{さんかひ ひつよう ばあい}参加費が必要な場合
もあります。



なにを?

^{かいめ}1回目~^{かいめ}5回目の^{よてい}予定

おしゃべりのテーマ

- ①11/16 ^{かいこうしき}開講式・^{じ こしょうかい}オリエンテーション・自己紹介など
- ②11/30 ^{きんじよ}近所のこと
- ③12/7 ^{かぞく}家族のこと
- ④12/21 ^{こうえん}てっぺん公園イルミネーション見に行こう
- ⑤1/11 ^{しょうがつ あそ たい もの}お正月の遊びや食べ物

■ 日本語教室の内容

●参加人数: 15人(中国8人、フィリピン1人、イギリス1人、日本5人)

●教室の内容:

月 日	テ ー マ
11月16日	教室開講、自己紹介
11月30日	自分の住んでいるところ
12月7日	家族のこと
12月21日	てっぺん公園見学
1月11日	お正月の遊び、食べ物
1月25日	料理の話
2月8日	旅行について
2月22日	折り紙



●担当: コーディネーターの指導の基に、サポーターと受講生がグループワークを行った。

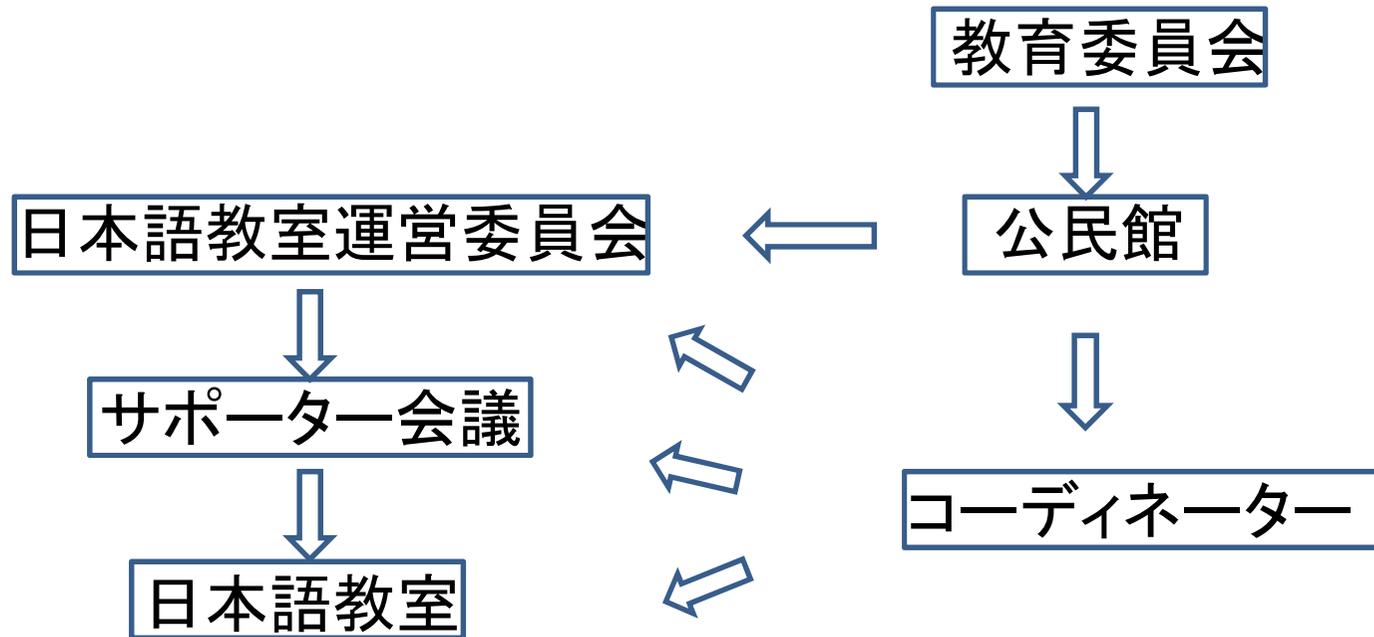
③コーディネーターの主な活動

- 運営委員会への参画 12h
- サポーターへの指導 12h
- 日本語教室の指導 20h
- 外国籍住民のニーズ調査 26.5h
- 教室受講生募集に関すること 8h

④アドバイザーの主な活動

- 運営委員会での指導、助言
- 村理事者との懇談
- サポーター会議での指導、助言
- 教室運営の視察、指導、助言

⑤事業の実施体制



⑥平成29年度の課題

日本人と結婚して来村したばかりで日本語の不自由な受講生もおり、教室内でコーディネーターが個別対応している。指導体制の強化が必要である。

また、サポーターの得意分野を活かしながら教室の運営を進めていくことが肝要であり、これらを中心にアドバイザーの指導助言を受けていく。

⑦平成30年度の予定

5月からの開設を目標に、アドバイザーの指導を受けながら、4月からサポーター研修を行う。また、「外国人に分かり易いゴミの分別マニュアル」づくり、「とよおかまつり」への参画等を通じた日本語学習活動を織り交ぜた30年度の事業計画を作成する。